

# ふるさとの心

その10 御領界限

—天草郡五和町—



あの人がいないと機械が回らない

本田 喜代治

ぼくが、この凸版印刷板橋工場に入社して早や二年が過ぎました。仕事は、昼勤の時は朝八時から午後五時まで、夜勤の時は午後六時から午前三時までの勤務体制です。入社当時は、ペースターマンといって、機械を停止せずに使いきった巻取紙を、新しい巻取紙に替える仕事でした。

はじめは、ペースターを失敗ばかりしていたので、先輩に迷惑ばかりかけていました。今では、だれにも負けないぐらい上手になりました。ペースターを失敗すれば、機械は回転せず、能率はあがらなく、先輩にしかられて自分に対して悔しくて涙を流したことが、何回もありました。ぼく自身まだ、仕事に未熟で先輩にしかられることもありましたが、仕事は、高校時代野球をやったので、野球で鍛えた根性で精いっぱい頑張っただけで仲間信頼される人間になることが絶対必要で、あの人がいなければ機械が回らないといわれるよう努力しようと心がけています。

現在ぼくは、寮生活をやっています。

寮は、会社から五分ほど行ったところであって、一部屋に二人ずつ入っています。

寮生活は、二人の交替制が違いますと、夜勤が終わって朝の五時過ぎ寮に帰って来ます。すると同寮生を早く起こすことになり、困っています。仕事で失敗したり、うまくいかなかったりしておこられたときは、寮生と飲みに行ったり、ゴーゴーを踊りにいったりしています。休日は、会社が隔週週休二日制をとっていますので、土休日は、寮でテレビを見たり、野球見学に行ったりしています。

日曜日は、会社の野球クラブに入部していますので、国民体育大会をめざして、試合に練習に頑張っています。凸版印刷株式会社板橋事業部 グラビア印刷課 大津高校卒